**准校長　小川　寿之**

**平成31年度　学校経営計画及び学校評価**

１　めざす学校像

|  |
| --- |
| 「誠実明朗」「自主創造」「友情協力」の校訓のもと、明るく健康で、自らを高め、他人を尊重する、人間性豊かな人格の完成をめざす。生徒と教職員との信頼関係をもとにした専門教育を通じて、勤労と責任を重んじ、幅広い技術をそなえた社会人を育成する。   1. 基礎学力と専門的な技能・技術を修得し、社会の中で主体的に生きる力を育てる。 2. 協調性、規範意識を身につけ、周囲から求められる社会人を育てる。 3. 地域社会での存在意義を高め、生徒が誇りをもてる学校づくり。 |

２　中期的目標

|  |
| --- |
| 1. 社会の中で主体的に生きる力を育てる。 2. 基礎的・基本的な学力の育成   　ア　授業でのICT活用を進め、基礎学力の充実を図る。  　イ　授業改善を図るとともに、授業内容・授業形態の工夫により、確かな学力を身につけさせる。  ※生徒向け学校教育自己診断における授業に関する満足度　（平成29年度80.3％、平成30年度83.0％）   1. 資格取得を学習の核に据え、主体的に自己の将来を切り拓く能力を育成   　ア　授業においても技能・資格取得を勧め、学習意欲の喚起と、有用な技能修得を図る。  ※平成31年度には卒業生徒の資格取得率100％（一人一つ以上）を目標とする。　　（平成29年度70.0％　／　平成30年度94.1％）   1. 在学中の就労を促進するとともに、生徒のニーズにあった進路実現をサポート   　ア　未就労生徒に対し、個別指導と個別支援による就労促進を行う。  　イ　キャリア教育、職業教育を充実させ、社会で自立できる力を育成する。  ウ　自己の個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成する。  ※学校斡旋就職を希望する生徒を支援し、正規就職希望者80％以上、就職内定率100％を目標とする。  （正規就職希望者　平成29年度 93％、平成30年度93.3％　／　就職内定率　平成29年度100％、平成30年度100％）   1. 周囲から尊敬される社会人を育てる。 2. 授業規律の確立   　ア　組織的な指導体制を確立し、良好な環境と授業規律の確立を図る。  ※良好な学習環境を実現し、生徒向け学校教育自己診断肯定率を毎年５％以上の向上を目標とし、平成31年度には80％以上にする。  （平成29年度69.2％、平成30年度77.5％）   1. 協調性や社会性の育成   　ア　魅力ある学校行事、部活動を振興し、学校生活の魅力を高め、集団活動への参加促進を図る。  ※出席率の大幅改善と平成31年度には１年次生の進級率70％以上を目標にする。　（平成29年度47.4％、平成30年度92.3％）   1. 誇りをもてる学校づくり 2. 地域連携を進め、学校への高い評価を獲得   　ア　生徒による地域活動の実施、公開講座の実施など、地域から見える、特色ある学校の取組みを推進する。  ※保護者向け学校教育自己診断において、本校の特色ある取組みについての肯定率80％以上を維持する。  （平成29年度85.7％、平成30年度91.7％）  （２）広報活動の充実により、学校の取組みを広く周知  　ア　学校ホームページの充実、地域自治会での広報などを積極的に展開する。  ※公開講座、学校見学会等への参加者を、平成31年度には年間延べ50名以上とする。　（平成29年度45名、平成30年度54名）    （３）人材育成により、優れた教育環境の提供  ア　生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と優れた指導体制づくり。  ※教育課程の改革と意欲的な指導体制の確立  ４．働き方改革への取組み  　　（１）各分掌・各委員会の会議の目的を明確化  　　　ア　不必要な会議を減らすとともに、会議資料のデータ化、ICTを活用することで会議を効率的に行う。  　　（２）定時退庁日、一斉休業日等を活用  ア　教職員の負担軽減・健康増進を図り、ストレスがなく働きやすい職場を実現する。 |

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

|  |  |
| --- | --- |
| 学校教育自己診断の結果と分析［平成31年　　月実施分］ | 学校運営協議会からの意見 |
|  |  |

３　本年度の取組内容及び自己評価

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中期的  目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 |
| １　社会の中で主体的に生きる力を育てる | （１）基礎的・基本的な学力の育成  ア　授業で効果的なICT活用を推進し、基礎学力の充実  （２）資格取得を学習の核に据え、主体的に自己の未来を切り拓く能力を育成  ア　授業においても技能・資格取得を勧め、学習意欲の喚起と、有用な技能の修得を図る。  （３）正規就職の拡大  ア　個別指導と個別支援による就労指導 | （１）  ア①ICT機器の活用やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施し、授業改善を進める。また、教材の共有化を図り、各教員の授業準備等に係わる業務の負担軽減を行う。  ②授業において、確認テスト等を実施し、基礎学力の定着を目標とする。  （２）  ア①溶接技術、ＣＡＤ、計算技術等、授業内容と関連した資格取得に関わる知識・技能の指導を充実させる。  ②資格取得をめざした講習・個別指導を実施し、生徒個別の支援を行う。  （３）  ア①キャリアコーディネータ等との連携による求人開拓、個別指導を継続的に強化し、卒業時に正規就職できるよう支援を行う。 | （１）  ア①ICT機器・視聴覚教材を活用した授業を実施  生徒向けアンケート「ICTを用いた授業が実施できている」における生徒肯定率80％以上を維持　（H29-80.3％、H30-83.0％）  ②各教科で繰返し確認テストを実施し、単位取得者の増加を図る。  生徒向けアンケート「授業が楽しく分かりやすい」における生徒肯定率70％以上を維持　（H29-72.2％、H30-81.0％）  （２）  ア①各種資格取得を奨励し、資格取得生徒の増加を図る。  卒業年次の生徒の70％以上の資格取得  （H29-70％、H30-94％）  ②３級自動車整備士試験受験者、合格者の増加。受験者３名以上、合格者２名以上  （H29-受験者４名 合格者４名、H30-受験者６名 合格者４名）  （３）  ア①就職希望生徒の応募前職場見学100％を維持　（H29-93％、H30-100％）  ②正規就職希望者80％以上、就職内定率90％以上（H29-正規就職希望者93％　就職内定率82％、H30-正規就職希望者93.3％　就職内定率100％）  ③将来のキャリアを見通した進学の実現。進学志望生徒の合格率100％を維持  （H29-100％、H30-100％） |  |
| ２　周囲から尊敬される社会人を育てる | （１）授業規律の確立  ア　組織的な指導体制を確立し、良好な環境と授業規律の確立  イ　生徒が主体的に授業に参加し集中して授業に取り組む姿勢を育成  （２） 協調性・社会性の育成  ア　学校生活の魅力を高め、集団生活への参加を促進 | （１）  ア①全教職員による生活指導体制を確立し、指導事例に即応し、良好な学習環境を維持する。  ②規範意識、社会性育成のための講座、ICT機器の正しい利用方法、情報活用能力等の指導機会を適宜設け、主体的に社会人としてのマナーを身に着けさせる。  ③高校生活支援カードを活用し、家庭および中学校・外部機関と連携を進め、きめ細かい支援を充実させる。  イ　授業中に発表や話し合いの機会を多くする。  （２）  ア①部活動を活性化、注目される成果をあげ、生徒の活動参加を促す。  ②秋季発表大会などの成果発表に積極的に参加し、生徒の能力を引き出す。 | （１）  ア①授業規律を見直し、落ち着いた雰囲気の学校づくりを行う。生徒向けアンケート「先生は責任を持って授業やその他の仕事に当たっている」における生徒肯定率５％向上を目標とし、平成31年度には80％以上とする。　（H29-69.2％、H30-77.5％）  ②欠席の多い生徒（年間30日以上）、中退者の減少  ・欠席の多い生徒15名以下  （H29-３名、H30-13名）  ・年間退学者７名以内を目標  （H29-12名、H30-７名）  ・懲戒件数５件以下を維持  （H29-３件、H30-３件）  ③中学校・外部機関との連携を強化し、中高連絡会参加・学校訪問20校以上実施を維持、本校の教育内容を周知  （H29-22校、H30-35校）  イ①アクティブ・ラーニングへの取組み。生徒向けアンケート「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」における生徒肯定率60％以上を維持  （H29-63.6％、H30-54.8％）  （２）  ア①部活動に参加する生徒を増加し、活動を支援  ・定通実業総体出場を目標とする。  ②秋季発表大会の生活体験発表、舞台発表、展示発表への参加維持（H29-生活体験発表1名、舞台発表０件、展示発表３名  H30-生活体験発表０名、舞台発表０件、展示発表４名）） |  |
| ３　誇りをもてる学校づくり | （１）地域連携を進め、学校への高い評価を獲得  ア　生徒による地域活動の実施、公開講座の実施  （２）学校の取り組みを広報  ア　地域での広報を積極的に展開  （３）優れた教育環境の提供  ア　生徒のニーズに合致した特色ある教育課程と優れた指導体制づくり  イ　安全安心な学校づくり | （１）  ア①生徒による学校周辺巡回清掃等の地域連携活動を実施する。  ②夏休み工作教室を、希望があれば出張教室にするなど拡大・充実する。  ③周辺地域公共機関等への実習作品の寄贈を継続する。  （２）  ア①学校行事を、保護者・地域に公開し、広報を実施する。  ②保護者・生徒のニーズに合致した学校ホームページの改善  （３）  ア①工業系科目の充実を図り、生徒が意欲を持って取り組める教育課程の再編成を進める。  ②授業公開、研究授業参加、専門研修派遣を実施し、授業力の向上と、指導内容の刷新を図り、優れた学習環境を実現する。  ③系列会議で生徒状況の把握、授業の工夫の交流などを進める。  イ①防犯防災訓練、交通安全教育及び研修の実施  ②安全点検の実施 | （１）  ア①地域連携活動を年間通じて実施。(年間３回以上) 生徒向けアンケート 「地域や保護者とかかわる機会がある」における生徒肯定率65％以上（H29-59.4％、H30-63.4  ％）  ②地域の小学生対象の出張工作教室を実施  参加者数延べ20名以上  （H29-29名、 H30-29名）  ③地域機関への作品寄贈３件以上を維持（H29-６件、H30-６件）  （２）  ア①体育祭、文化祭等、学校行事への保護者などの参加者数延べ50名以上（H29-45名、H30-54名）  ・保護者向けアンケート「授業参観など学校行事に参加した」における保護者肯定率10％向上を目標とし、H31年度には60％以上とする。  （H29-40.9％、H30-53.3％）  ②HP更新月２回以上、教員・校長ブログでの情報発信（H29-48回、H30-50回以上）  （３）  ア①教育課程の見直し、再編成。生徒向けアンケート「本校には他校にない特徴がある」における生徒肯定率80％以上  （H29-78.4％、H30-85.7％）  ②授業公開の実施、研修への派遣を行い、H30年度の延べ10名を維持  ③若手教員を中心とした研究授業を年２回以上実施（H29-２回、H30-３回）  ・公開研究授業実施  生徒向けアンケート「教え方に工夫をしている先生が多い」における生徒肯定率80％以上を維持  （H29-86.3％、H30-73.8％）  イ①年３回の生徒向け訓練、講習の実施及び心肺蘇生法教員研修の実技実習の実施  ・生徒向けアンケート「災害時の行動について知らされている」における生徒肯定率80％以上  （H29-72.3％、H30-75.6％）  ②機械・自動車工場の年度内２回の安全点検及び産業医を伴った巡回点検を実施、安全な学習環境を維持  （H29-２回、H30-２回 産業医巡回実施） |  |